

学習者主体の初級日本語授業を行うための サイレントウェイ研修会

3回連続講座
3000円
(3回セット)

公益社団法人日本語教育学会
2025年度宮地裕基金人材育成研修講座

概要

近年、CEFRや日本語教育の参照枠では、学習者の主体性が重視されています。では、「学習者主体」とは何を意味するのでしょうか。そして、なぜそれが大切なのでしょう。さらに、学習者主体の授業を行うために、教師はどのような役割を果たすべきなのでしょう。

カレブ・ガテーニョが提唱したサイレントウェイでは、「教えることは学ぶことに従属する(Subordination of teaching to learning)」という考え方が示されています。学習者が自らの気づきや試行錯誤を通じて学び、教師の役割は、その学びの補佐をすることです。

本研修会では、この理念を手がかりに、学びの主体性の意味とその重要性、そして教師が果たすべき役割について皆さんと一緒に考えていきます。

日程と各回の内容 ※事前課題あり

第1回

フランス語の
サイレントウェイ授業を
体験してみよう

11/30(日)13:00~16:00
対面@宝塚大学東京新宿キャンパス
(新宿駅徒歩5分)

第2回

日本語の
サイレントウェイ授業を
観察してみよう

12/20(土)13:00~16:00
オンライン(Zoom)

第3回

自分の授業に
サイレントウェイを
どう取り入れるか
考えてみよう

1/10(土)13:00~16:00
オンライン(Zoom)

参加費 3000円 (欠席の場合は資料のみ配布)

定員 25名 (先着順)

第1回講師

ブリュネル・アルチュール
(コム・レ・フランセ)

第2,3回日本語授業担当者

清水明子
(サイレントウェイ東京)

主催者

アドゥアヨム・アヘゴ希佳子、品田潤子
(宝塚大学) ※代表者 (BPC研修サービス)

お申し込みはこちらから
(11/15(土)締切) →



お問い合わせ: silentwayresearcher@gmail.com